

## R6.2.4 山梨日日新聞

# 富士山開発抑止訴え

富士吉田 都留文大元教授が講演

講演する都留文科大元教授の  
渡辺豊博さん（富士吉田市内）



郡内地域の住民でつくる  
「富士山の環境を考える会」  
は4日、富士吉田市の下吉田  
中央コミュニティセンター  
で、富楽時で、都留文科大元

教授の渡辺豊博さんを招いた  
講演会を開いた。渡辺さんは  
環境への影響や災害の危険性  
などを指摘し、県が進める富  
士山登山鉄道構想に否定的な

考えを示した。

渡辺さんは「富士山学」が  
専門で、「富士山は泣いてい  
る？ 富士山は世界文化遺産  
にふさわしい山なのか」と題  
して講演。市内外から約60人  
が参加した。

渡辺さんは富士山に噴火や  
土石流など災害の危険性があ  
ることを指摘。構想では次世  
代型路面電車（LRT）を敷  
設することとしており、開発  
による環境への影響を懸念し  
「傷つけずに受け継ぐ責任が  
あるのではないか」と話した。

このほか、管理体制を整え、  
富士山の環境保全や開発の抑  
止を進める必要性を訴えた。  
5合目以下にも観光客の分散  
を進めるべきだとも提言し  
た。

〈武田寛明〉